

# 総合計画審議会の審議状況について（第2回袋井市総合計画審議会 議事要旨）

## 政策分野別(子育て・教育・健康・医療・福祉・スポーツ)の現状や課題認識について [まとめ]

### 【開催概要】

第2回袋井市総合計画審議会を、以下のとおり開催。  
意見交換では、委員がグループディスカッションを行い、専門の見地から課題認識などのご意見を頂きました。

日時	令和6年7月24日(金)18時30分～20時30分
場所	袋井新産業会館キラット あきはホール
内容	1 開会 2 会長あいさつ 3 報告事項 4 議事 (1) 各政策の現状と課題認識等の整理 (SWOT分析) 子育て・教育・健康・医療・福祉・スポーツ分野 (2) ショートプレゼン (3) 意見交換 (4) グループ発表・まとめ 5 事務連絡 6 閉会

### 【政策1 子育て 教育】 子育て

Strength(強み)	Weakness(弱み)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 豊かな自然がある</li> <li>● 公立への信頼・愛着が強い</li> <li>● 地域のつながりが強い</li> <li>● 待機児童数が3年連続ゼロ</li> <li>● 市内全ての小学校区で「架け橋期のカリキュラム」を実施中</li> <li>● 幼児教育セクターによる支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市が実施している事業に対する認知度が低い</li> <li>● 発達障害、外国にルーツを持つ児童・生徒などの増加に伴う支援体制の整備が求められている</li> <li>● 保育士などが不足している</li> <li>● 様々な部署に業務・窓口が分散</li> <li>● 療育体制の充実と切れ目ない支援が課題</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 潜在保育士が地域内にいる</li> <li>● 「こども家庭庁」が発足</li> <li>● 「こども大綱」のほか、「こども未来戦略」が閣議決定</li> <li>● デジタル技術によるつながり方の多様化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出生数や児童数の減少</li> <li>● 地域での養育力の低下</li> <li>● 閉じた核家族化</li> <li>● 人が減り、サービス提供が困難になる支援策が発生する恐れ</li> <li>● 婚姻件数は過去最低を更新</li> <li>● 若い世代が結婚や子育てなど明るい将来展望を描けない</li> </ul>
Opportunity(好機)	Threat(脅威)

### 【政策1 子育て 教育】 教育

Strength(強み)	Weakness(弱み)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒の自らが考える力の向上に向けた取り組み</li> <li>● ICTを積極的に活用した教育や教員の指導力の向上</li> <li>● 特別支援教育や不登校対策に関する人的・物的環境</li> <li>● 学校と地域とのつながり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学力向上、体力・体格の改善に向けた取り組み</li> <li>● 教員の業務見直し等、働き方改革の推進</li> <li>● 教育施設の老朽化への対応や必要な財源確保</li> <li>● 公立幼稚園の定員割れ</li> <li>● フリースクールがない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が提言</li> <li>● 「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」</li> <li>● GIGAスクール構想のもと、1人1台端末が活用可能に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども達が抱える課題の複雑化・困難化。不登校やいじめの増加</li> <li>● 特別な支援を必要とする児童生徒数の急増、外国にルーツを持つ児童生徒の増加に伴う支援体制の整備が求められている</li> <li>● 教員の長時間労働の問題化と教員の成り手不足</li> </ul>
Opportunity(好機)	Threat(脅威)

### 【政策2 健康・医療 福祉 スポーツ】 健康・医療

Strength(強み)	Weakness(弱み)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域コミュニティ活動が活発で孤独を感じない環境</li> <li>● お茶や野菜など、「食」に恵まれた地域</li> <li>● 温暖な気候で歩きやすい平坦な土地、施設の充実など運動しやすい環境</li> <li>● 健康寿命が男性81.4歳、女性85.0歳と全国トップクラス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 診療科目によっては医師不足</li> <li>● 病院へのアクセスが難しい地域がある</li> <li>● 要介護認定者の原因疾患は生活習慣病の中で脳血管疾患が1位</li> <li>● 標準化死亡率において、男女とも糖尿病が国や県よりも高い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康維持のための研究やデジタル技術の活用が進んでいる</li> <li>● 個々のデータの利活用</li> <li>● 病気の人であっても、いかに快適に過ごせるか価値観の変化</li> <li>● 元気でアクティブなシニアの増加(人生100年時代)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 働く世代や外国人市民の健康意識改善や受け入れ環境の整備</li> <li>● 疾患のリスク要因の多くは喫煙</li> <li>● 認知症のリスク要因とし社会的孤立が挙げられる</li> <li>● 医療・介護の複合ニーズを有する患者・利用者が増加</li> <li>● 医療・介護資源の偏在</li> </ul>
Opportunity(好機)	Threat(脅威)

### 【政策2 健康・医療 福祉 スポーツ】 福祉

Strength(強み)	Weakness(弱み)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉を支えることが期待できる人材が地域内には存在している</li> <li>● 療育施設や介護施設、スポーツ施設など、施設が充実している</li> <li>● 障がい者施設と事業者との連携</li> <li>● 袋井特別支援学校の存在</li> <li>● 地域包括支援センターへの相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 老健や介護医療施設、在宅医療支援機関などが少ない</li> <li>● 介護人材が不足している</li> <li>● 障がい者雇用が進んでいない</li> <li>● 障がい者就労における伴走型支援の不足</li> <li>● 発達障害者のアクセス拠点が少ない</li> <li>● 介護と障害の壁。介護&lt;障害</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農福連携の可能性</li> <li>● 介護・福祉分野でのICT活用</li> <li>● 「障害者総合支援法」R6.4施行</li> <li>● こども家庭庁設立に伴い、子どもに関する障害福祉施策が、一部厚生労働省から移管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護人材の高齢化と担い手不足</li> <li>● 福祉と介護との複合ニーズを有する利用者が増加</li> <li>● 支援に関する情報にアクセスできない人できない人の情報格差</li> <li>● 障がい者等の移動手段</li> <li>● 障がい者の総数は1,164.6万人と人口の約9.3%と増加</li> </ul>
Opportunity(好機)	Threat(脅威)

### 【政策2 健康・医療 福祉 スポーツ】 スポーツ

Strength(強み)	Weakness(弱み)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種スポーツ教室が多く、身近で参加しやすい</li> <li>● スポーツ施設が多く、スポーツをする環境に恵まれている</li> <li>● スポーツ指導者派遣事業を利用する園や小学校が増加</li> <li>● 「袋井スポーツ飯」の開発</li> <li>● スポーツ合宿事業補助金制度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊合宿できる施設が少ない</li> <li>● 民間による支援が手薄</li> <li>● トップアスリートを育成する環境が不十分</li> <li>● 部活動の運営が困難</li> <li>● 指導者の発掘と育成</li> <li>● 成人のスポーツ実施率が低い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● eスポーツやアーバンスポーツ等新しいスポーツの広がり</li> <li>● 期待されることで成績があがるビッグマリオン効果がある</li> <li>● スポーツ投資(金の卵を育てる)することによるまちの魅力向上</li> <li>● スポーツを活かしたまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大規模スポーツイベントの開催予定がない</li> <li>● 所得格差が教育格差に繋がり二極化を助長している恐れ</li> <li>● 小・中学生の運動能力、運動習慣等調査の体力合計点が低下</li> <li>● 部活動の地域移行は自治体によって受け入れ体制に差</li> </ul>
Opportunity(好機)	Threat(脅威)

(注)この資料は、グループディスカッションにおけるご発言やメモのほか、後日、各委員から提出された補足意見や参考資料などをもとに要旨を整理したものです。

## グループ別の意見交換結果 (Aチーム&Bチーム)

### [Aチーム] 福祉

#### Strength(強み)

- 身近な支援や相談
  - ✓ 地域包括支援センターの存在・人材
  - ✓ 相談できる人がいる(地域包括支援センター)
- 施設等の存在
  - ✓ 介護施設の充実。個性的
  - ✓ 療育施設が増えた
  - ✓ デンマーク牧場
  - ✓ さわやかアリーナやエコパスタジアムなど
  - ✓ スポーツ施設のバリアフリー
  - ✓ 袋井特別支援学校の存在

- その他意見
  - ✓ 計画が着実に進められている感じ
  - ✓ 福祉に関して、様々な声が届きやすい
  - ✓ 障害者スポーツの認知度
  - ✓ 家庭菜園
  - ✓ 高齢者・障害者とコミュニティ
  - ✓ 高齢者のスポーツ参加(グランドゴルフ、でんでん体操、ゲートボールetc)



#### Weakness(弱み)

- 情報(知っている・知らない格差)
  - ✓ 専門性や縦割り行政の弊害⇒フンストップを…
  - ✓ 行政に頼りすぎる体質、法人もつとできる
  - ✓ 知識不足や情報格差
  - ✓ 地域包括支援センターにアクセスできない情報格差
- 施設や人材など
  - ✓ 介護人材の確保
  - ✓ 老健医療院が少ない
  - ✓ 在宅医療支援機関がない
  - ✓ 介護人材の狭間(県西部と中部の間)
- その他意見
  - ✓ 市内にパラスポーツ団体が少ない
  - ✓ パラスポーツの教室が少ない
  - ✓ コミュニティ格差 自治体ごとにつながりが…
  - ✓ 発達障害者のアクセス拠点が無い(例:ルビロ[浜松])
  - ✓ 相談支援の弱さ/社会福祉法人があるが相談支援できる
  - ✓ 介護と障害の壁がある。介護<障害



#### Opportunity(好機)

- 可能性
  - ✓ 農福連携の可能性
  - ✓ 見守り支援の充実
  - ✓ 地域医療との連携
  - ✓ 介護・福祉分野でのICT活用

#### Threat(脅威)

- 居場所と出番、担い手の不足
  - ✓ 介護する人間の高齢化
  - ✓ 人手不足
  - ✓ 社会参加と雇用
  - ✓ 障がい者雇用が進んでいない
  - ✓ 移動手段が減
  - ✓ 働く場所の少なさ
  - ✓ 活躍の場が必要

### [Bチーム] 子育て

#### Strength(強み)

- 豊かな自然
  - ✓ 広い空
  - ✓ 平らな緑
  - ✓ 田舎で環境が良い
  - ✓ 公園に駐車場があって行きやすい
- 施設が多い
  - ✓ メロープラザが利用しやすくて良い(フリースペースや開館時間など)
  - ✓ 療育施設が多い
- 地元愛
  - ✓ 都市部と比べて行政と一般市民の距離が近い
  - ✓ 公立幼稚園への愛着が強い
  - ✓ 公立幼稚園で障がい児も受け入れている
- その他意見
  - ✓ 医療費助成(補助)が充実
  - ✓ 子どもが2人以上の家庭が多い。3人、4人兄弟が多い
- いじめ、外国人など
  - ✓ 支援学級の児童数の割合が多い ✓ 外国人の割合が増えていて、対応できているのか心配
  - ✓ 普通の人を育てる教育⇒枠から外れる人⇒いじめ

#### Weakness(弱み)

- 市の事業PR
  - ✓ 架け橋期をどんなところに力を入れているかわからない(保護者にうまく伝わっていない)
  - ✓ 相談窓口がわかりにくい(課がまたがる場合は、両方に相談しないといけない)
- 不登校etc
  - ✓ 先生方が外国人のお子さんの対応にかなりの時間がかかっている
  - ✓ 不登校が増えているので心配
  - ✓ (公立園の)保育士不足
  - ✓ フリースクール(民間)がない
- その他意見
  - ✓ 障害児を抱えている家庭と地域のつながりが少ない
  - ✓ 公立幼稚園定員割れしすぎ。幼稚園教育の需要
  - ✓ 病院での受け入れしづらい
  - ✓ 小学生以上が過ごせる室内の居場所が少ない

#### Opportunity(好機)

- その他意見
  - ✓ 潜在保育士は多い

#### Threat(脅威)

- 子ども減少
  - ✓ 子どもの減少(子ども、移住者の取り合い)
  - ✓ 児童数が減少
- その他意見
  - ✓ 閉じた核家族
  - ✓ 単的な住まい方(庭や縁側など他者と繋がる場の減少)



グループ別の意見交換結果 (Cチーム&Dチーム)

[Cチーム] 健康・医療

Strength(強み)

- コミュニティ
  - ✓ 近所づきあい
  - ✓ 生きがい活動が活発
  - ✓ コミュニケーションセンターに行くと、お年寄りが活躍。元気でアクティブなシニア。
  - ✓ 中高年向けの広告やイベント→アクションを起こすシニアが多い→広告レスポンスが高い

- 食が充実
  - ✓ 移動販売車など企業・事業者との連携
  - ✓ お茶、食が多彩
  - ✓ 安心・安全な食に恵まれている

- 地域の資産
  - ✓ インバウンド需要は地域の資産
  - ✓ エンタメ性の高い活用が可能なアリーナがある
  - ✓ スポーツが苦手でもライブ・マルシェなど

- その他意見
  - ✓ 健診率高い
  - ✓ ビルがあまりなくて土地が多い
  - ✓ 格差が比較的少ない

Weakness(弱み)

- その他意見
  - ✓ 車社会の弊害
  - ✓ 身近に良い食材があるが、その価値をわかっていないかも？
  - ✓ 医療資源の不足
  - ✓ 地域交通の空白地がある(アクセス不良)
  - ✓ 医療者にとって魅力的な環境や機会が少ない

Opportunity(好機)

- パーソナルデータの取得と活用
  - ✓ ウェアラブル端末を配布する企業もある
  - ✓ 今後は血圧や血糖値も測れるようになる

- その他意見
  - ✓ オンライン診療
  - ✓ 医療技術や新薬など進化・発展



Threat(脅威)

- その他意見
  - ✓ 円安でアウトバウンド困難
  - ✓ 個人測定がもっと簡単にできると良い
  - ✓ 健康診断や検査の煩雑さ、煩わしさ
  - ✓ 健康機器が高額(血圧・血糖値)
  - ✓ 社保が多く状況把握しにくい



[Webチーム] 健康・医療

Strength(強み)

- 健康維持するための環境が整っている
  - ✓ エコパがあり、市民がスポーツに触れ合う機会が多い
  - ✓ 緑茶に含有されるカテキンやポリフェノールを摂取する機会が多い
  - ✓ 中核病院・診療所との医療連携体制

- 心のゆとりを保てる環境
  - ✓ 日照時間が長い
  - ✓ 平坦な土地で歩きやすく運動しやすい

- 孤独を感じない環境
  - ✓ 近隣同士の接触が多く声がけや仲間作りがしやすい
  - ✓ 人口が多すぎず、顔が見える関係を築きやすい環境

Weakness(弱み)

- 集約化と移動手段の確保が重要
  - ✓ 小児科・産婦人科・外科が特に不足
  - ✓ 救急医療に携わる医師不足
  - ✓ 医師不足(袋井市は全国平均以下)
  - ✓ 中核病院の不足
  - ✓ 人口当たりの医師不足
  - ✓ 介護施設の人手不足
  - ✓ 高齢者支援 スタッフの不足

Opportunity(好機)

- その他意見
  - ✓ 平均寿命の延伸
  - ✓ ウェアラブルな機器の普及
  - ✓ デジタル社会による遠隔医療などの可能性

Threat(脅威)

- 外国人への健康意識の定着 環境整備
  - ✓ 健康リテラシーを外国人にも普及させる必要がある
  - ✓ 外国人もがん検診などを受けやすくする必要はある



# 政策分野別(子育て・教育・健康・医療・福祉・スポーツ)の現状や課題認識について[グループディスカッション]

## グループ別の意見交換の補足意見ほか

### 子育て

#### Strength(強み)

- 自然
  - ✓ こどもを育てやすい。豊かな自然がある
  - ✓ 自然が多く外で遊ぶことができる
  - ✓ 野鳥が飛来する田や茶畑含め、自然の中で育つ
- 地域力
  - ✓ 市ではまだ3世代同居がある
  - ✓ 地域のつながりが比較的強い
- その他意見
  - ✓ 給食が「おいしい」すばらしい
  - ✓ 待機児童ゼロ
  - ✓ 住環境が整っている
  - ✓ 住宅地が多くある

#### Weakness(弱み)

- 人材不足
  - ✓ 保育士の不足
  - ✓ 保健師人材不足
  - ✓ 保育士を希望する方が少なくなっている
- 家庭
  - ✓ 家庭の養育力が落ちている
  - ✓ 保護者が子どもを充分に理解していない面あり
  - ✓ 核家族化の進行
- その他意見
  - ✓ 虐待・DVの件数の高止まり
  - ✓ 財政事情の悪化。施設の老朽化対応が必要
  - ✓ 子育てに不安を感じている人がいる
  - ✓ 公立主義
  - ✓ 療育支援施設の充足が図られていない
  - ✓ 産みたい子どもの数とのギャップ

#### Opportunity(好機)

- その他意見
  - ✓ 相談できるところが増えている
  - ✓ 母子保健から児童福祉への引継ぎの円滑化
  - ✓ 子ども家庭センターの義務化
  - ✓ 子育て支援センターが増えている
  - ✓ 幼、小、中一貫教育の推進
  - ✓ 幼小中連携

#### Threat(脅威)

- その他意見
  - ✓ 発達障がい
  - ✓ 特性のある子の理解不足
  - ✓ 出生数の減
  - ✓ 人口減少社会。保育教育現場の指導者が減少
  - ✓ 出生率は低下が止まらない
  - ✓ コミュニティが希薄化傾向
  - ✓ 地域の養育力が落ちている
  - ✓ 子育て施策から子どもが生まれる施策への転換
  - ✓ 子を養育する親への経済力が低下傾向がある
  - ✓ 核家族化の進行
  - ✓ 保護者の養育のストレスの解消方法や機会の不足

### スポーツ

#### Strength(強み)

- 利用者
  - ✓ 各種スポーツ教室が多い
  - ✓ スポーツ団体(少年)が多い
  - ✓ さわやかアリーナ等施設利用者の増加
  - ✓ 身近で気軽に利用できるスポーツ施設が市域全体に存在している
- 施設
  - ✓ スポーツしやすい温暖な気候
  - ✓ スポーツをする環境が整っている(例)エコパ、さわやかアリーナ、河川公園ほか
  - ✓ スポーツのジムの増加
  - ✓ 施設が多くスポーツしやすい環境にある

#### Weakness(弱み)

- 施設
  - ✓ 宿泊施設が少ない
  - ✓ 合宿を行う宿泊施設が少ない
  - ✓ 専用施設が少ない
- 支援つながり
  - ✓ 民間によるスポーツ事業への支援が薄い
  - ✓ トップアスリートを育成する環境が不十分
  - ✓ 指導者も不足
- 効果
  - ✓ スポーツ実施後の効果が見えない
  - ✓ 体力低下
- 部活動
  - ✓ 部活動運営が困難

#### Opportunity(好機)

- 環境(見る)
  - ✓ プロスポーツを見る・支えることができる
- その他意見
  - ✓ eスポーツなど新たなスポーツの台頭

#### Threat(脅威)

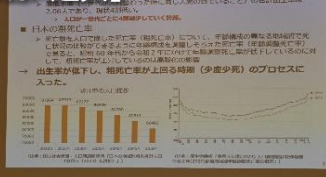
- その他意見
  - ✓ 大規模なスポーツイベントがない
  - ✓ 施設が多いと維持費がかかる
  - ✓ やる人とやらない人の二極化
  - ✓ 年齢ごとにスポーツへの取組みの濃淡が出る

## 有識者によるショートプレゼンほか (デジタル/健康・医療/スポーツ)

### 司会進行:鈴木会長



### プレゼン①:坂下委員(JIPDEC) デジタルは「道具」



### プレゼン②:山本委員(静岡SPH) データから見る健康・医療の現状



### プレゼン③:溝口委員(JWCPE) スポーツのチカラの可能性

